

---

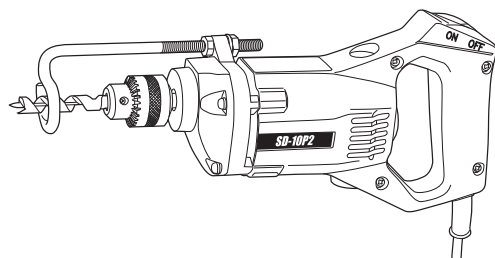
# しいたけドリル

---

形式名 SD-10P2

---

## 取扱説明書



## も く じ

---

■安全上のご注意	1
■電気ドリル使用上のご注意	5
■外観図	7
■仕様	7
■用途	8
■しいたけドリルご使用上の 注意とお願い	8
■ご使用前の準備	8
■ご使用前の注意	10
■手入れのしかた	10
■その他	11
サービスショップ一覧	12

---

日本国内専用  
Use only in Japan

- 
- このたびは、しいたけドリルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  - この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
  - お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
-

## 注意文の「⚠ 警告」、「⚠ 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

**⚠ 警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠ 注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## ■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示にしたがって正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 警 告

- 1.作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2.作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・ 電動工具は雨中で使用したり、湿った、または、濡れた場所で使用しないでください。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 3.感電に注意してください。
  - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- 4.子供を近づけないでください。
  - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- 5.使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
- 6.無理して使用しないでください。
  - ・ 安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- 7.作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。

## 警告

8. きちんとした服装で作業してください。
  - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
  - ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
11. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
12. 加工する物をしっかりと固定してください。
  - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップに修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
  - ・使用しない、または、修理する場合。
  - ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。

## 警告

16. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
  - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
17. 不意な始動は避けてください。
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
  - ・常識を働かせてください。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップに修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップで修理を行なってください。
  - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
22. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
  - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
  - ・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップにお申し付けください。
  - ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

## ■電気ドリル使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電気ドリルとしてさらに、次に述べる注意事項を守ってください。

### ⚠ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を越える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する箇所に電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
  - ・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。
  - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。
  - ・けがの原因になります。
5. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップに点検・修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、キリや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
7. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
  - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。  
(二重絶縁品は除く)

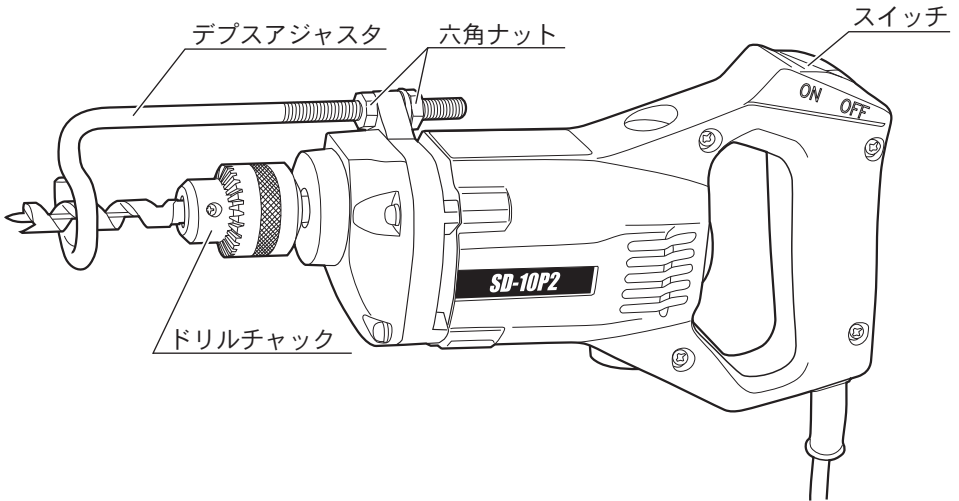
## △ 注 意

1. キリや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ・確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ・回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 穴あけ直後のキリや切りくずは高温になっているので、触れないでください。
  - ・やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
  - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ・けがの原因になります。

●騒音に関する法条例に留意してください。

ご使用に際し、各都道府県等の条例で定める工場または事業所で使用する場合には、周囲に迷惑をかけないように各条例で定める騒音規制値以下でご使用になることが必要です。必要に応じ、しゃ音壁を設けてください。

## ■ 外 観 図



## ■ 仕 様

形 式	電 源		全 負 荷 電 流 (A)	消 費 電 力 (W)	無 負 荷 回 転 速 度 (min <sup>-1</sup> )	質 量 (コード線不含) (kg)
	種 類	電 圧 (V)				
SD-10P2	単相交流	100	4.3	400	10,000	1.3

スイッチの種類	標準付属品	摘 要
タンブラー式 ス イ ッ チ	チャックハンドル……………1個	雑音防止用コンデンサ内蔵 アースクリップ付3心耐震形 ビニールキャブタイヤケーブル 2.5m
	デプスアジャスタ……………1個	
	六角ナットM8……………2個	
	バネ座金……………1個	
	スパナ……………1個	
	予備カーボンブラシ……………2個	

※改善のため、仕様などを予告なく変更する場合があります。

この製品は、日本国内用に設計されているため、海外では使用できません。

また、アフターサービスもできません。

This product is designed use only in Japan and cannot be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.



## ■ 用 途

ナラやクヌギなどのほだ木に椎茸の種駒を打ち込む穴を能率よくあけることができます。

### ■ きのこキリの使用について

- キリは一般市販品の植菌専用キリをお使いください。
- しいたけドリルを長くお使いいただくためにキリは、早目に交換してください。
- SD-10P2には、高速形の植菌専用キリをお使いください。又、キリのサイズは、12mm以下をお使いください。キリのサイズが大きいとモーターに無理な力がかかりますので、ご注意ください。

推奨品 日椎連オリジナルキリ「ハイスピード<sup>ワン</sup>1」

### ■ しいたけドリルご使用上の注意とお願い

- スイッチを「入」にしたまま、または電源プラグをコンセントに差し込んだままキリの取り付け、取りはずしなどをしないでください。不意に回転して怪我をするおそれがあります。
- 樹脂部分はガソリン、シンナーなど揮発性の強いもので、ふかないでください。よごれた部分は石けん水をやわらかい布に付けてふきとってください。

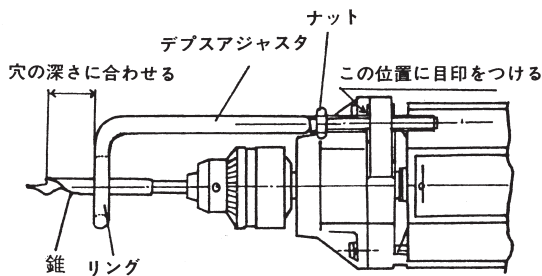
### ■ ご使用前の準備

#### 1. キリの取り付け方

- ドリルチャックの外周のリングを左に回し（反時計方向）先端の3コの爪をキリの径より少し大きめに開きます。
- お使いになるキリを爪の中央に差し込みチャック回して側面の3コの穴を使って三方向均等に締めてください。

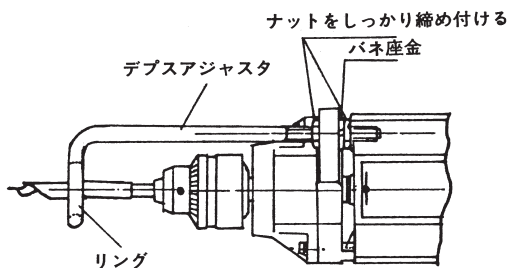
#### 2. デプスアジャスタの取り付け方

- デプスアジャスタのリング側に付属品のナットをリング側いっぱいまでねじ込んでください。（第1図）
- キリをドリルチャックに装着した後、デプスアジャスタを本体に差し込み、希望の穴の深さに調整してください。デプスアジャスタの位置が決まりましたら第1図のように目印をつけてください。



第1図

- デプスアジャスタを本体に装着した状態でリング側のナットを目印の位置までもどしてください。
- 調整ができれば穴の深さを確認してください。そして他のナットとバネ座金をデプスアジャスタのネジ部にねじ込み、2個のナットではさみつけるように付属品のスパナで、しっかり締めつけてください。(第2図)  
このときキリがリングの中央にあるようにしてください。



第2図

### 3. 延長コード

- 電源の位置が離れているときは延長コードを用意する必要があります。延長コードは使用する長さに応じて電流を通すのに十分な太さのものをご使用ください。
- あまり長くしたり、細い線を使ったりしますと、電圧の降下が大きくなりモーターの力が弱くなりますので、できるだけ短くしてください。次の表は本機に継ぐことができるコード線の太さ(心線断面積)とその最大長さを示します。

心線断面積	最大長さ
0. 75mm <sup>2</sup>	20m
1. 25mm <sup>2</sup>	32m
2. 00mm <sup>2</sup>	50m

※ コード線に損傷があった場合には交換または修理に出してください。

## ■ ご使用前の注意

電源プラグを電源に差し込む前にまず次のことがらを確認してください。

### 1. 使用電源を確かめる

- 必ず銘板記載の電圧でご使用ください。100V用のものを200V電源に接続するとモーターの回転が異常に高速となり、機体が破損するおそれがあります。
- 必ず電源ヒューズを確かめてください。ヒューズ容量は15Aのものをご使用ください。
- エンジン発電機をご使用になるときは、無負荷時（エンジン発電機だけを運転し電気ドリルは使用しないとき）の電圧が110Vをこえないようエンジンの回転数を調整してご使用ください。本機は電源電圧100Vで十分能力を発揮するように設計してありますので、無理にエンジンの回転数を上げ、電源電圧を高くする必要は全くありません。電源電圧を必要以上に高くして使用しますと電気ドリルの寿命が短くなりますからご注意ください。

### 2. スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグを電源に差し込むと、不意に起動し思わぬ事故のもとになります。スイッチがOFF(切)になっていることを必ず確認してください。

### 3. コードと電源プラグの点検

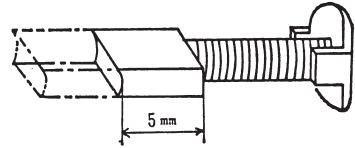
- お使いになる前には、必ずコードや電源プラグを点検してください。コードや電源プラグがいたんだまま使用すると、やけど・感電・火災などの原因となります。
- 電源プラグを差し込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。
- 必ずアースクリップで接地を確実にしてから電源プラグを差し込んでください。

## ■ 手入れのしかた

### 1. カーボンブラシの取り換え

- 電源プラグを必ずコンセントから抜いて行なってください。

- カーボンブラシの摩耗状態には常に留意して、右図の長さになったら新品とお取り換えください。摩耗したブラシをそのまま使用していると、整流火花が大きくなり、故障の原因となります。



- カーボンブラシの材質はモーターの性能・寿命に大きく影響いたしますので、交換のさいには必ず正規のカーボンブラシをご使用ください。また、カーボンブラシを取り出した場合は裏表をまちがえないよう、もとの通りブラシホルダーへ挿入するように、ご注意ください。  
(ブラシを取り出したとき、印をつけておくと便利です。)

## 2. 保 守

- 年に1回ぐらい定期的に分解手入れを行ないますと長もちします。
- ギヤおよび軸受には潤滑剤としてグリースを使用しておりますので、ひんぱんに給油する必要はありませんが、1年に1回ぐらいは新しいグリースと取り替えることが必要です。玉軸受は、白灯油の中ではけを使って洗い、古いグリースやほこりを除き、良質のグリース（アルバニヤNo.2相当）を軸受に塗りつける程度に入れてください。  
過度のグリースは発熱流出の原因となります。
- モーターの巻線部は重要な部分ですから、ていねいに取り扱い、傷をつけたり、油や水などをつけないよう十分注意してください。
- 整流子の表面が黒く汚れているときは、極細目（＃400）のサンドペーパーで落としてください。
- 回転部に切削くずやごみが詰まらないように清掃してから保管してください。
- 保管するには、ほこりの少ない乾燥した場所を選んでください。

## ■ そ の 他

- 修理は、必ずお買い求めの販売店または、弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップにお申しつけください。  
修理の知識や技術のない方が修理されますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因となります。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造などは、絶対にしないでください。